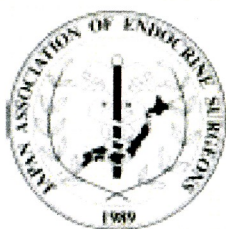


日本内分泌外科学会

Japan Association of Endocrine Surgeons



News Letter — December 2007, No.2

ホームページが充実しました。
情報提供の場です。是非御活用下さい。
<http://jaes.umin.ac.jp/>

日本内分泌外科学会理事長のご挨拶

第19回日本内分泌外科学会総会を終えて

第20回日本内分泌外科学会総会開催に向けて

平成18年度日本内分泌外科学会賞を受賞して

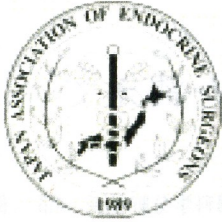
平成18年度日本内分泌外科学会研究奨励賞を受賞して

第19回日本内分泌外科学会評議員会議事録

[随筆] 内分泌外科医とは？

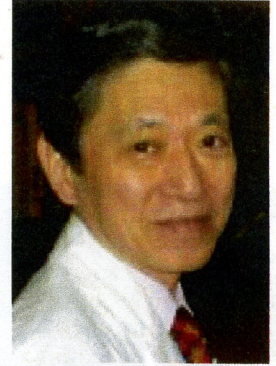
[随筆] 小雨の古寺にアジサイを楽しんで

[随筆] 結 紮



<http://jaes.umin.ac.jp/>

日本内分泌外科学会理事長のご挨拶



日本内分泌外科学会理事長
(帝京大学医学部外科)
高見 博

2007年の第19回本総会は名古屋市立大学 腎・泌尿器科学分野教授 郡健二郎会長の下で、成功裡に終了いたしました。来年の2008年度は記念すべき第20回目の開催となります。会長の佐々木巖教授(東北大学外科)も大いに力を入れられておりますので、宜しく願い申し上げます。

本学会も外科関連学会協議会 加盟学会となり久しく、泌尿器科と共に外科系学会の中で、医学・医療のあらゆる分野で重責を背負っていくことになります。日本は世界有数の医療大国ではありますが、求められる医療の質とは反対に「外科医系医師」を取り巻く状況は苦しくなってきました。たとえば、外科志望者が減少していることに关しまして、その原因は多種によび、会員の皆様も毎日、マスコミなどを通し、お考えになっていることと思ひます。詳細は省かせていただきますが、究極のところ「進化する外科」をめざしている以上、「外科医療の崩壊」は絶対に避けなくてはなりません。外科の中で、内分泌外科医は比較的、穏やかな方の集合体ですが、外科系に属している以上、医療のプロフェッショナルリズムに基づき、反省すべき点は反省し、主張すべき点は主張し、進化した医療を社会と共に共有できるように努力すべきと考えております。

